

高橋 哲 編

『教員の「働き方改革」はなぜ進まないのか』 ——教育・教員の特殊性をふまえた改革提言

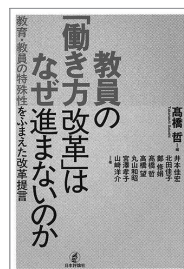
神林 寿幸
(明星大学教育学部准教授)

本書は、米国の教育法制研究者である高橋哲氏ら8名が、給特法改廃論議に矮小化されがちな教員の「働き方改革」を多角的に分析し、専門職としての教員の尊厳回復に向けた政策提言を試みた著作である。こうした問題関心のもと、本論にあたる第Ⅱ・Ⅲ部の全9章は、国内の制度分析と国際比較の二つで構成される。

国内の分析として、第1章と第5章は2025年改正給特法（新給特法）を批判的に検討し、当事者である教員が政策決定から排除されてきたことを制定過程の分析を通じて明らかにした。第2章は教職の専門性・特殊性が新給特法で軽視されていることを示し、正規の勤務時間内に専門的裁量時間を確保することの必要性を論じた。第3章と第4章は教員定数算定制度と教育財政制度を概観し、教員の勤務実態に即した定数改善とそのための財政措置の拡充を提言した。

国際比較として、第6章はアメリカ、とりわけニューヨーク州・市の事例から、労働者としての権利保障と専門職性確保の両立可能性を示した。第7章は韓国における勤務時間管理制度と労使対等な合意形成プロセスを分析し、第8章と第9章はドイツ・イギリスの授業中心の勤務時間管理と業務削減政策をそれぞれ概観した。以上の分析を踏まえ、第Ⅳ部では教員の職務の特殊性を反映した労働時間管理モデルと教員定数・財政措置の拡充といった政策提言が示される。

本書の貢献は二点ある。第一に、教員定数・教育財政・政策決定過程・国際比較という多面的な分析



●日本評論社
2025年9月刊
四六判・300頁
定価2530円（本体2300円）

●たかはし・さとし
科学研究科准教授。
大阪大学大学院人間

軸によって「働き方改革」の課題と今後の展望を導出した点である。法学的規範論を中心にしながらも、財政制度論・比較教育制度論・政策過程論を組み合わせた構成は、「なぜ『働き方改革』が進まないのか」という問いへの多角的な回答を可能にし、教育関係者のみならず保護者・地域住民を含む広い読者の議論喚起に資する。第二に、米韓独英との比較を通じて、日本の教員における専門的裁量時間と団体交渉権の制約という課題を浮き彫りにし、必要な改革の方向性を具体的に示したことである。

他方、本書には今後さらに検討されるべき課題も残されている。第一に、国際比較における教員の勤務実態の検証が十分でない点である。例えば、本書で、ドイツでは授業時数ベースの管理が教員のゆとりにつながると論じているものの、週の労働時間が55時間以上という健康リスクが懸念される教員が一定数存在することを報告する研究（Kreuzfeld, Felsing and Seibt 2022）があり、イギリスでは1990年代以降の労働時間削減策の限界も示唆されている（Allen et al. 2020）。制度設計が教員の労働環境改善につながっていることを十分に検証しないまま諸外国の事例を援用することは、政策提言の説得力を損ないかねない。第二に、地方教育行政を分析の射程に収めることの必要性である。例えば、第4章は教育条件整備における国の責務を強調するが、分権改革以降、教育予算は自治体の社会経済的または政治・行政的要因からの影響を受けやすくなり、自治体の動向が教員の労働環境に直接的な影響

を及ぼしうるようになった。もちろん、分権化の進展を国の責任後退として捉えることも可能かもしれないが、現行制度を基礎として「なぜ『働き方改革』が進まないのか」を問うのであれば、国の制度設計とともに自治体レベルの分析や議論がもっとあってもよかったように思う。

以上の点は本書のさらなる発展可能性を示すものであり、その意義に変わりはない。広く読まれるべき一冊である。

参考文献

- Allen, R., Benhenda, A., Jerrim, J. and Sims, S. (2020) "New Evidence on Teachers' Working Hours in England. An Empirical Analysis of Four Datasets," *Research Papers in Education*, Vol. 36, No. 6, pp. 657-681.
- Kreuzfeld, S., Felsing, C. and Seibt, R. (2022) "Teachers' Working Time as a Risk Factor for Their Mental Health: Findings from a Cross-Sectional Study at German Upper-Level Secondary Schools," *BMC Public Health*, Vol. 22, No. 1, 307.